

大学評価学会年報『現代社会と大学評価』第8号

「質保証」を問い直す

—発達保障からのアプローチ—

晃洋書房（1,800円＋税） 2014年3月発行（ISBN978-4-7710-2540-0）

目 次

特集1 「質保証」を問い直す—発達保障からのアプローチ—

- 報告① 大学教育・教養教育の現代的課題と
その評価・質保証の在り方について 藤田 英典
- 報告② 「発達保障」50周年と「the Right to Development」
—大学評価学会の掲げる「学生の発達保障を可能にするような教育・研究のありよう」とは—
渡部 昭男
- 報告へのコメント 碓井 敏正／植田 健男

特集2 学校評価から学ぶ

- 報告① 学校評価と学校づくり—現状と課題— 勝野 正章
- 報告② 学校評価と四者協議会—高校までの階梯と大学評価— 小池由美子

論 文

- ニュージーランドにおける学生自治会の法的地位をめぐる位置づけの検証
—大学運営・政策決定及び質保証への学生参加の観点から— 米津 直希

報告1：大学評価サマーセミナー

- 坂田昌一の目指した研究体制 沢田 昭二

報告2：国際人権A規約第13条問題特別委員会

- 韓日米「国際シンポジウム」の報告
- 日本における「無償教育の漸進的導入」運動の進展 渡部 昭男
- 日本の大学評価制度の現状 日永 龍彦
- 日本における「ブラック大学」とのたたかい
—労働組合法人全国大学人ユニオンと大学オンブズマン— 細川 孝
- 日本における高等教育無償化に向けて
—社会権規約第13条2項(c)からの視座— 腰山 千明

書 評

- 高野篤子『アメリカ大学管理運営職の養成』（東信堂 2012年） 村上 孝弘